

2022 入試講演会 スクールIE 主催

令和5年度入試の展望

岩佐教育研究所
岩佐 桂一

教育環境の変化

教育の変化の要因

コロナショック

高校教育と大学教育、大学入試の一体改革

高校生への、国の就学支援金と埼玉県独自の支援金増額

学習指導要領施行 小学校 令和2年、中学 3年、高校 4年

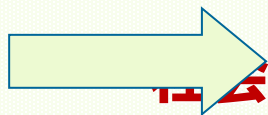
同時に指導要録の観点別評価の変更

在籍の変化 少子高齢化

ソサエティ5.0、AIの進歩

国連のSDGSに参加 持続可能な17の開発目標

民法改正 2022年、同時に刑法も



社会の変化と教育への影響

令和4年度 中学3年生について

- 全国109.0万人出生 在籍は108.0万人
卒業生は109.3万人出生 在籍107.9万人
令和2年は出生84.1万人 死亡137.3万人

少子高齢化が進む

- 令和4年度 在籍の変化 公立のクラス増
埼玉県・公立 59,212人 -200人 -3 予想
東京都・公立 77,802人 +1,310人 +18予想

観点別評価の変更とは？

- 観点別評価から通知表 通知表から学習指導要録・調査書の評定へ

評定のおおもと

旧観点別評価 国語の例

- 1 興味・関心・態度
- 2 話す、聞く能力
- 3 書く能力
- 4 読む能力
- 5 言語についての知識・理解・技能

授業への参加
積極性
提出物

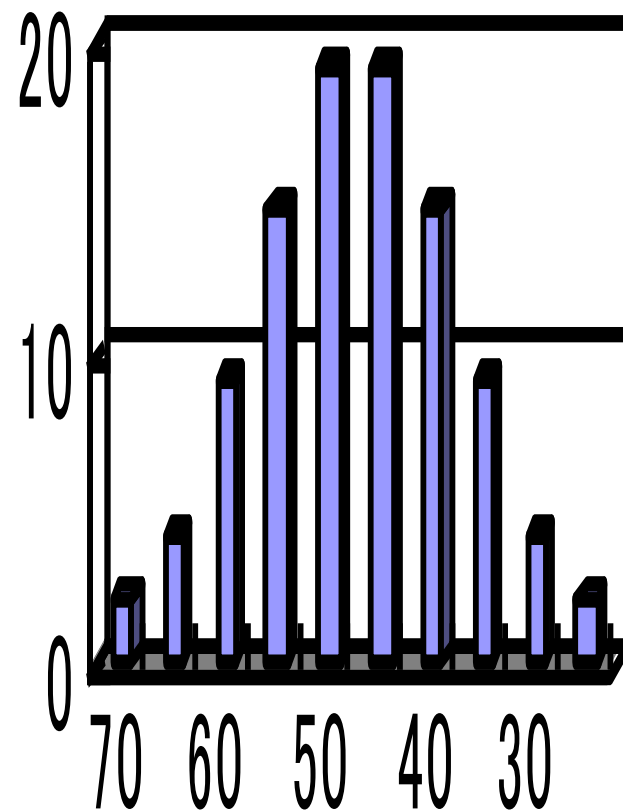
新しい観点

- 1 知識・理解
- 2 思考・判断・表現
- 3 主体的に学習に取り組む態度

偏差値の分布と意味づけ

- 偏差値は相対評価

70以上	2. 3パーセント
65～69	4. 4パーセント
60～64	9. 2パーセント
55～59	15. 0パーセント
50～54	19. 1パーセント
45～49	19. 1パーセント
40～44	15. 0パーセント
35～39	9. 2パーセント
30～34	4. 4パーセント
30未満	2. 3パーセント



埼玉県の高校入試の流れ

- **高校進学率** 全日制91.3%(3年度) 卒業61,178人
- **公立入学者** 全日制34,547人(定時制996人)
全日制進学者の61.9%
- **私立入学者** 約2万912人 全日制進学者の37.4%
埼玉県内私立 収容数 17,900人(うち県内16,200人、
県外1,600人、内部進学2,540人)
県内の実質収容数13,800人 進学者の24.7%
隣接都県国公私学 進学者の8.8%(約4,917人)

令和3年12月15日現在進路希望調査

公立全日制志望は65.1%

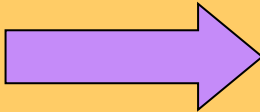
(730→73.4→72.9→71.1→70.3→68.2→65.4)

全日制出願者は、公立希望者の98.0%



埼玉の高校入試

- コロナ禍によって変わったこと
- 公立高校の入試
- 私学の対応
- 入試を乗り切るために



**コロナショックの中、入
試を通じて子供たちを
成長させる**

埼玉県の公立入試の特徴

- ◆ 学習指導要領改訂に伴う、内容の増加
入試問題は難化、調査書の評定に変化
特に英単語の増加に注意
- ◆ 中学校長会の公的テスト実施
各地査定会・進路指導に利用、結果の集計も
県入試の模試ー6月から作文も
偏差値算定、年2~3回
2月頭までには、通知書で調査書内容を開示
- ◆ 得点、調査書の比率 7対3 から3対7まで
難問・記述問題の割合 配点の63%(選択65%)
英語・数学は学校により選択問題実施(22校)



夏期講習から本気モードで

公立高校入試について

- 合否は偏差値だけでは予測できない
- 公立高校ごとの格差について
- 学校の選抜基準を読み取ろう
- 公表される選抜基準以外の判断資料はない

日程 発表済

選択問題採用校 5月末

出題の基本方針 5月末

募集定員 6月末

入試要項・選抜要項 7月上旬

選抜基準・選択問題採用校

選抜の基本方針

- (1) 学力検査を重視する。
- (2) 調査書の「特別活動等の記録」で実績を残した者の選抜に配慮する。
- (3) 受検生の能力をより適正に測るため、数学と英語の学力検査は学校選択問題で実施する。

選抜資料

○学力検査の扱い					[500点]
○調査書の扱い	学習の記録の得点	1年 2年 3年 (1 : 1 : 3)		(225点)	} [335点]
	特別活動等の記録の得点			(100点)	
	その他の項目の得点			(10点)	
○その他の資料	なし				

一般募集

- 第1次選抜（60％を入学許可候補者とする）

（各資料の配点）

①学力検査	②調査書	③その他	④合 計
500点	335点	実施しない	835点

1.00倍

基準点

- 第2次選抜（37％を入学許可候補者とする）

（各資料の配点）

⑤学力検査	⑥調査書	⑦その他	⑧合 計
500点	215点	実施しない	715点

0.64倍

- 第3次選抜（3％を入学許可候補者とする）

第2次選抜における合計得点の一定の順位の者を対象に、「特別活動等の記録」の得点で選抜する。

調査書の扱いの詳細

【特別活動等の記録の得点（100点）】

○部活動 運動部 全国大会出場、関東大会出場、県大会出場、都市大会上位入賞 等

※上位の大会については予選等を経たものに限る。レギュラーとして出場したものを評価する。

文化部 全国大会出場・出展、関東大会出場・出展、県大会等出場・出展・入賞 等

※予選等を経たものに限る。団体の場合は当該大会で出場したメンバーを評価する。

○生徒会活動等 生徒会長、生徒会副会長、各種委員会委員長、その他評価できる活動

【その他の項目の得点（10点）】

○取得資格等 英検（日本英語検定協会）準2級以上、漢検（日本漢字検定協会）2級以上、
数検（日本数学検定協会）準2級以上、柔道段位、剣道段位 等

○クラブチーム、ボランティア活動、その他顕著な活動

私立高校入試について

- **学校説明会、個別相談の勧め**
最盛期は11月
ネット併用
単願はもちろん、併願受験も個別相談から
- **学校・コースごとの格差について**
- **学校の選抜基準を読み取ろう**
内申、偏差値
- **公的な助成金を知ろう**

入試に絡むお金の話

- **公立 無償化について**
- **私立の就学支援金について**
- **埼玉県の父母負担軽減について**
- **大学の学費について**

- **無料教育から有料教育へ**

公立と私立の学費(令和3年度)

公立高校 入学金5,650円

授業料・・・不徴収

私立高校 入学金24万円

授業料38万円

施設費18万円/年

国の就学支援金 11万8800円(590～910万)
39万6000円(～590万)

年収910万程度
以上は対象外

埼玉県就学支援金 年収は市町村民税所得割額

①年収720万円未満 国の支援金と合わせて
37万8000円

②年収609万円未満 国の支援金と合わせて
37万8000円、入学金支援10万円

③年収590万円未満 国の支援金と合わせて
39万6000円、入学金支援10万円

④年収500万円未満 国の支援金と合わせて
39万6000円、入学金支援10万円、
施設費支援等20万円

⑤生活保護家庭 入学金支援10万円、他は全額支援

元年度在籍の
36%が受給



50%へ

大学等の学費(4年度)

国立大学 入学金 282,000円

授業料・535,800円

私立大学

早稲田大学 政経 入学金200,000円

授業料999,000円/年

実習費等20,000円程度/年

理工 入学金200,000円

授業料144万6000円/年

実験・実習費等110,000円程度/年

明治大学 政経 入学金200,000円

授業料等109万4,000円/年

青山短大 現代教養 入学金300,000円

授業料等1,077,000/年

一番 重要なこと

- 新型コロナウイルス禍でも、冷静に対応できる心を育む
- 調査書の評定は重要 集中して授業に
- 会場テストと中学校の実力テストが重要
- 親の立場－お金で教育の選択は避けたい
- 将来の仕事ややりたいことを考えさせよう
- 高校は 「自分を一番伸ばしてくれる」 学校を選ばせよう
- 高校は「最終目的地」ではない だから
「妥協」や「あきらめ」をさせない

2022 入試講演会 スクールIE 主催

令和5年度入試の展望

ご清聴ありがとうございました

岩佐教育研究所 岩佐桂一